

金沢教区令和6年能登半島地震にかかる諸対応について

2024.1.22

【教区内被害状況】

1月3日より宗派災害救援本部とも連携し、被害の特に大きかった御寺院へのお見舞い、併せて各組長に被害報告を取りまとめいただきました。1月22日現在、以下の被害が確認されています。被災された方々には、衷心より御見舞い申し上げます。

《金沢教区》

寺院被害…本堂または庫裡全体が大規模な損壊4カ寺（寺族は避難して生活）
部分的に大きな損壊10カ寺（一部損壊を超える内容）
壁剥落や瓦落下など一部に何らかの被害を受けた寺院122カ寺。

別院被害… 金沢別院【壁・渡り廊下に一部損壊はあるが、当面の安全は確認済】
金沢別院東山蓮如堂【10mの蓮如像が倒壊。院議会議決後、撤去予定。】
鶴来別院【境内の灯籠が倒れる。建物被害は軽微。】

なお、このたびの地震被害に対し、金沢教区へは現在以下の通り義援金が送られています。

- ・ 宗派 200万円
- ・ 九州教区 30万円

【各御寺院へ】

（1）災害見舞タオル・ブルーシート等の提供について

すでに配布した御寺院であっても、追加のご要望や御門徒に配布されたいという場合があります。ありましたら、教務所へお問い合わせください。

（2）第2種共済の申請について（申請書同封） ※既に申請された場合は提出不要

任意加入未加入であっても、本堂・庫裏は賦課金によって基礎加入がされています。
加入状況（口数・期間・対象建物）がご不明な場合は、教務所へお問い合わせください。
柱・床・屋根など建物自体への被害が対象です。仏具・扉・窓ガラス等は対象外です。

《申請方法》

- ① 被害箇所の写真を、できるだけ詳細に撮影ください。
- ② 添付の聞取りシートに、被害状況等の必要事項を記入ください。
- ③ 写真と聞取りシートを、教務所へ提出ください。

写真は、現像したものを持参されるか、データをメールや教区LINEへ提出ください。

今回被災された寺院が多いため、査定にかなりの時間を要することが予想されます。あらかじめ、ご了承ください。

（3）能登教区への救援物資の拠出について

教区LINEをはじめ各種SNSで救援物資を勧募しています。おかげさまをもちまして、食品から各種生活用品、防寒具など幅広い物資を行政とも連携の上、避難所にお届けすることができました。誠にありがとうございました。

現在は、各避難所や寺院からの要望に基づいて支援物資を逐次搬送しています。引き続き物資の提供をお考えの方は、事前に金沢教務所へご一報ください。

（４）能登教区所属門徒の葬儀等の執行について ※添付別紙参照

被災して所属寺と連絡が取れない中で、葬儀等を願い出る御門徒からの相談が金沢教務所・金沢別院にも多く寄せられていました。そこで、金沢教区御寺院・教会各位には、別紙のようなご対応をお願いいたしたく、事情ご賢察の上、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

なお本内容は、金沢市近郊の葬儀会社にもお伝えしています。

宗派災害救援本部や能登教区等の状況については、宗派公式 HP、X（旧 Twitter）、教区 HP をご覧ください。



宗派公式 HP



宗派 X（旧 Twitter）



教区 HP（おやまねっと）

【金沢教区緊急事態対策委員会】

金沢教区緊急事態対策委員会（参事会・常任委員会・参考人[各組長]）を1月22日に招集し、本災害への対応について協議し、以下のことを決定いたしました。

- （１）能登教区へ見舞金150万円を、金沢教区災害積立金会計から拠出します。
- （２）宗派から教区へ見舞金200万円を、特に甚大な被害を受け避難しておられる4カ寺（いずれも内灘地区）に50万円ずつ見舞金として拠出します。
- （３）本災害に対しての救援金勧募を1カ寺1口5000円として行います。ただし、被災された教区内御寺院も相当数ありますので、無理のない範囲でご協力よろしくをお願いします。詳細は別紙をご覧ください。

内灘地区ご寺院の被害状況



液状化により1mほど地盤がずれ、本堂の沈降・隆起が発生している。



隆起により床面が大幅に歪曲し、本堂全体の傾きが発生している。